

ナ加ヘザルヘン然レド都下十丁ノ遺之ニ加フルニ十
數丁ヲ以テス是レ遺程ヲ二倍ニスルモノニシテ爲メ
ニ遠キヲ加フルヲ覺フルハ亦免カレ難キ所ナルベ
シ其レ程々遺程ヲ二倍ニシテ亦甚ク遠キヲ加フル
ナニシテ其間ノ遺程實ニ二倍ノ多キヲ加フルハ勢
然ル所ナルベシ左レハ海陸運輸銀行等ノ諸商社
ヲ軍ニ放シ甲掛ケ開平章註掛ケコト出京ノ來ル所
開會場ノイテ相手ニスル者ナラシムレハ則テ可ナリ
ト雖モ若シ夫レ其相手ナラシメ時是レ金ノ箴語ニ從テ
遺程遺程遺程ヲ算算ノ間ニ争ント欲スル者ナラシム
レハ則テ斯ル東京ノ田舎ニ併在スルヲ以テ可ナリ
トスベクシテ故ニ先ツ速カク東京改造ノ測量地圖ヲ
製シ據メ中央市區ノ形畫ヲ定メ以テ此等商賈ヲ親
クテ交通便宜ノ地ニ居テトシ活潑ノ商業ヲ日本ノ帝
都ニ營スルヲ得セシメシメテ我輩ノ希望ニ堪ヘサル
所ナリ

「ハツロウ」氏市區改良法

市區ノ仕組ニ付テハ種々ノ方策アリ中ニ就キ四角形
ノモノハ甚ク簡易ニシテ市街屋内ノ裝置ヲ容易ナラ
シムルノ便益アリ然レド千街一形ニシテ人目ヲ倦マ
シムルノ不便アルノミナラズ府中一部分ノ地ヨリ他
ノ一部分ノ地ニ到ラントスルニ四角形ノ兩側面ヲ通
過シテ迂路ヲ取ルノ不便アリ最初我輩ハ數學上ノ計
算ニヨリテ市街最良ノ組織ヲ工夫シテレド到底此事
ハ幾何上ノ工夫ニ屬スルヲ發明シテ我輩ハ市區
改良法ヲ左ノ二様ノ点ヨリ研究シテ第一何等ノ法
ニ從ヘバ成ル可キ丈ク狹キ土地ニ成ル可キ丈ク長キ
道路ヲ作り得ルヤ第二往來交通ノ道路殊ニ最要ノ通
衢ヲシテ成ル可キ丈ク短ク作り得ルヤノ疑問是ナリ
市街ノ組織ニ付建築四角ノ方策アリ四角ノ大角ノ八角
及ビ圓形是ナリ數學上ノ計算ニヨルニ成ル可キ丈ク
狹キ土地ニ成ル可キ丈ク廣キ宅地ヲ占メ成ル可キ丈
ク長キ道路ヲ作り得ルハ四角ノ中ニテ六角形ヲ以テ
第一トスルガ如ク尋常市區ハ四角形ノモノヨリモ六
角及ビ八角ノモノ、方往來交通ノ便利并ニ地面ノ經
濟トモ甚ク大ナルモノトス唯六角及ビ八角形ノ市區
ハ其他地ヲシテ六角形ノモノニハ六十度、八角形ノ
モノニハ四十五度ノ銳角ヲ生シシムルノ不便アルナ
リ實際ノ經驗ニ依ルニ都會ノ住民ハ成ル可キ丈ク中

央ニ近接セントシテ從テ人口ハ中央ニ稠密ニシテ之
遠キカナルニ從ヒ次第ニ稀少トナルナリ故ニ此有様
リ考ルルハ圓形ノ市區ヲ以テ適當ナルモノトス
ベシ圓形ノ市區ノ外圍ハ馬車幾軌ヲ併ヘテ駢スベキ
ニ直線ノ道ヲ幅廣クシテハ馬車幾軌ヲ併ヘテ駢スベキ
カナルニ從ヒ次第ニ宅地ノ面積ヲ廣クスルヲ得ベク
レハナリ此等幾何學上ノ性質ヨリ推スニ一府ノ中心
ニシテ人口ハ極メテ稠密、地價ハ極メテ高ク、往來交
通ハ極メテ自在ナルヲ要スル中央市區ハ六角形ヲ以
テ最上トスベシ但シ此中央區中ニ數箇所、空地ヲ存
シ紀念碑ヲ建テ墳水盤ヲ置ク等ノ場所トナスベシ此
六角形ノ中央區ノ外圍ハ馬車幾軌ヲ併ヘテ駢スベキ
程ノ大路ヲ設ケテ一周セシメ又此大路外ノ市區ハ彎
曲線ノ道路ヲ作ラザルニ注意シテ十分圓形ナラシ
ムルヲ好トス斯ノ如クスレバ中央區外各集落ノ要衝
ハ何レモ直線ニ中央區ニ集マリ或ハ直線ニ或ハ少許
ノ屈曲ヲ以テ中央區ヲ橫斷シテ進行シ且ツ各集落市
街ノ仕組ハ稍四角形ニ構造スルヲ得ベシ又横道ハ
中央區ヲ遠キカナルニ從テ次第ニ其距離ヲ増シ宅地ノ
面積ヲ廣クスベシ左ノ圖式(次號ニ載ス)ハ以上ノ主
義ニ從テ製シタルモノナリ (以下次號)

報 雜

○行幸 聖上ハ明三十日吹上御苑へ行幸の上再び
皇居御造營の御模様を大覽あらせらるゝ旨と昨日仰
出され又來六月二日隅田川上流に於て執行の海軍水
兵端船競漕會へも行幸在らせらるゝ旨同様昨日仰出
されたりと

○即位式 魯國皇帝の即位式ハ一昨廿七日を以て執
行せられたるに在り、比魯國伊藤參議より昨朝其節へ
通しふる電信ハ冠戴式満足足相濟みふりとありふる
由同國虛無黨ノ謀略企てゆるも滞りなく此大
禮を了りたるハ誠とよ目出度事と云ふ

○本朝菊麿王 同王には一昨日午前八時新橋發の瀧
車にて横須賀へ赴けられ遺精所を巡覽ありて昨日御
歸宮ありたりと

○神樂供物 來る六月一日皇宮中神樂の月次祭お付
新宿植物御苑お於て成辦せし本年の新麥及黃瓜茄子
等を獻供すへ旨官内卿より該苑へ趣ありたり

○松方太藏卿 同卿大坂出張れとい環て記載せしが
愈明三十日横濱解纜れ玄海丸にて出發するよし今回
同野の御用は遺幣局の遺幣試驗并日本銀行支店開
業式に臨む爲めありと云ふ

○田邊宮崎縣令 新任宮崎縣令田邊輝實君ハ來六
月四日當地を出發任地へ赴けりよし

○月形典義 樺戶集治監典義月形典義君に
日東京したり

○退出時限 宮内省に於ても六月一日よ
出頭午後二時退出せ改めらるゝよし

○賣藥検査 東京府より賣藥検査を以て
を出張せしめ昨今専ら取調中なるよし

○海員臨時試驗 農商務省管轄船にて昨
員臨時試驗ヲ行ハ爾本治兵衛ハ乙種三等
保田床三郎ハ小形操關手お及第し外一名
といふ

○高砂丸 三菱會社持の瀧船高砂丸ハ上
底塗替の爲め來る六月一日入渠同地滞在
より農商務省へ届出たり

○水産集談會閉場 本報町町明治會堂
ハ水産集談會は兼て其筋より下附になり
題お附於會員各意見を吐露し了りたるを
六日閉場式を執行せられ昨日ハ會員一同
館へ招待して饗應されたり又右閉場の節
説ハ左の如し

本會ノ閉場ニ方リ 不肖和 我大日本水産
集談會ヲシテ會長ノ任ニ當リ親ク諸君
ニ相見ヘ諸君ノ説ヲ聽ク茲ニ五日諸君
セシメテ會場ニ上リ四條ノ問題ニ對シ
アル所ヲ陳フル實實切切ナリ平素其業
ノ厚キコト非ラサルヨリハ笑ハ能ク此
ヤ閉會ニ際シ薄カ諸君數日ノ勞ヲ慰シ
益々其業ニ勉勵アラント希望ス

明治十六年五月廿六日 大日本水産集談會會長 柴田

水産集談會本日ヲ以テ終テ告ク抑モ水
産改良ヲ加ヘ進歩ヲ圖ルノ途一ニシテ
説キ之ヲ談スルノ事件亦屈指ニ勝ヘス
ノ日子能ク盡ス所ニ非ラス故ニ四條
シテ常務ノ急ナルヲ擇フト雖モ其
甚ク難シトス是ヲ以テ同意或ハ未タ各
盡スニ足ラサルヲ恐ルルニ日ヲ聞ス
ニ能ク豫期スル所ヲ空クセス是實ニ各
務ノ篤キト其秘奧ヲ吐露スルノ各ナ
所ナリ各地老練篤業ノ士アル業已
他日水産ノ興起セサルヲ憂ヘン 遠平
ニ依リ親ク本會ニ就キ各員ノ談話傳
得テリ而シテ其詳細ノ報告ハ不日本會
可ト雖モ亦此實況ヲ復命スヘシ
員ノ勞ヲ慰ス

明治十六年五月廿六日 農商務省少書記官 片山

本日水産集談會ノ終局ニ方リ我大日本
下觀シク此場ニ臨ミテ閉會ノ式ヲ舉
シカ他ニ事故アルヲ以テ此ニ及ハレ
セヨ抑モ本會閉場以降茲ニ數日農務局
題ニ付テ諸君カ平素ノ意見ヲ陳フル
ク其要ヲ悉セリ以テ當局者參考
トキキテ信ス當局者ノ參考ニ供ス